

子どもの予防接種

VPDから大切な子どもたちを守りましょう。

VPDとは、Vaccine（ワクチン）Preventable（防げる）Diseases（病気）の略で、『ワクチンで防ぐことができる病気』のことです。

世界中に多数ある感染症の中でVPDはわずかですが、子どもたちの命にかかわる重大な病気です。日本では、毎年多くの子どもたちが、VPDに感染して、重い後遺症に苦しんだり、命を落としたりしています。

予防接種を受けて、VPDから子どもたちを守りましょう。

予防接種の受け方

1. 予防接種のスケジュール

予防接種には、予防接種法によって定められた定期の予防接種と、それ以外の任意の予防接種があります。予防接種には、病気ごとに接種に適した時期がありますので、できるだけ標準的な接種期間に受けてください。定期予防接種については、19ページの「定期予防接種の種類と対象者」を確認し、スケジュールを立てましょう。任意予防接種については、接種医にご相談ください。接種費用は、定期予防接種については全額公費負担のため、無料です。

生後2か月頃と1歳頃（大館市に住民登録しているかた）に、健康課から予防接種のお知らせと予診票を郵送します。

《対象年齢の教え方》

- 出生〇週〇日後（ロタウイルスワクチンの週数）とは、生まれた日を0日として計算します。

例) 出生 6 週 0 日後：生まれてから6回目の生まれた日と同じ曜日

例) 出生 14 週 6 日後：生まれてから15回目の生まれた日と同じ曜日の1日前

- 満〇か月とは、誕生日前日で満〇か月と考えます。

例) 生後 〇 か月 から：〇か月目の誕生日前日から対象

例) 生後〇か月に至るまで：〇か月目の誕生日前日まで対象

例) 〇 歳 未 満：〇歳の誕生日前日まで対象

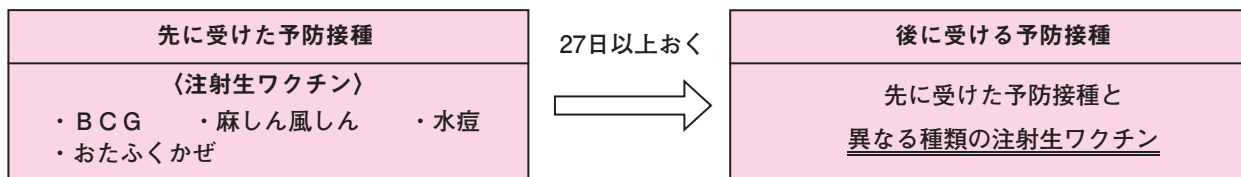
《予防接種の間隔》

● 同時接種について

医師が特に必要と認めた場合、複数のワクチンを同時に接種することが可能です。希望する場合は、接種医にご相談ください。

● 異なる種類の予防接種を受ける場合について

- ◎ 注射生ワクチンから注射生ワクチンを受ける場合は、27日以上の間隔が必要です（接種日翌週から数えて、4週目の同じ曜日から接種可能です。）



※ 予防接種を受ける際は、発熱や接種部位の腫れがないこと体調が良いことを確認し、接種医に相談の上、接種を受けてください。

● 同じ予防接種を複数回受ける場合について

それぞれの予防接種の接種間隔をご確認し、必ず接種間隔を守って受けてください。